

レベル	件数	代表的事例と対応策
0 及び 1	327件	<p>転倒転落(151件) ポータブルトイレ移動時、ベッドサイドで尻餅をついているのを発見。 【対応策】 ベッド柵2本からPバー2本に変更し、Pバーの間からポータブルトイレへ行くようにした。</p> <p>与薬(23件) 配薬カートに朝食後と夕食後の薬を逆にセットし、そのまま配薬した。 【対応策】 配薬セット後、もう一度確認する。配薬時、氏名・内服時間の確認を徹底する。</p> <p>検査(19件) MRI撮影時、Yシャツの胸ポケット内に携帯電話が入っていた。 【対応策】 可能な方は、検査着に着替えてもらう。ポケット内の確認を行う。</p> <p>輸液(19件) ビーフリード輸液の上室液と下室液が開通されず、下室液のみ投与されているのを発見した。 【対応策】 開通手順に沿って準備し、確実に開通していることを確認する。ダブルチェック時も開通確認を行う。</p> <p>チューブ類の管理(19件) 慢性硬膜下血腫術後、頭部にドレーン挿入あり、術後のCT検査施行時、ドレーンクランプをしないうまま移動した。 【対応策】 慢性硬膜下血腫術前・術後チェックリスト内に「CT検査時はドレーンをクランプする」を追加した。</p> <p>注射(15件) 期限切れのインスリンを点滴内に混注して、投与した。 【対応策】 開封後1か月後(開封後使用期限)の日付を容器に記載する事にして周知した。</p> <p>その他(81件) 救急搬送時、看護師に氏名を聞き、医事システムで検索した結果、1名のみ表示されたため、受付した。放射線室で本人確認した際、生年月日が違っており別人であったことが判明した。 【対応策】 マニュアルに沿って、患者検索において「氏名・生年月日・性別」の三点を確実にチェックして患者受付を行う。患者到着後、本人確認を再徹底する。</p>
2	33件	<p>部屋替え後の酸素投与忘れ 酸素3L投与中。部屋替え後、酸素流量計を付け替えたが128分間にわたり酸素投与が開始されていないのを発見した。 【対応策】 酸素流量計を再設置した際は、酸素投与がされているか確認、投与量の確認を行う。訪室時に酸素投与量を確認する。</p>
3	27件	<p>職員の針刺し・咬傷・粘膜曝露事故4件、転倒転落による骨折7件・裂傷等7件、ケアや移乗介助時の表皮剥離8件、耳垢除去後の出血1件 隣のベッドにもたれかかっている所を発見。靴下で歩き、滑ってもたれかかった際、左手首を打った。左手関節の腫脹・疼痛あり、検査の結果、左橈骨遠位端骨折を認めた。 【対応策】 前日フローセンサーを除去したばかりであり、再設置した。移動時は必ず靴を履くように説明した。センサーは段階を踏んで除去を検討する。除去後の数日間は、ナースコールの説明を十分に行い、移動時は見守る。</p>
4	0	該当なし
5	0	該当なし